



かほる

学校便り No.6

平成26年5月22日

郡山市立薫小学校

児童数 425名

文責：小林 伸行

燃やせ薫魂 みなぎる力で仲間と共に 夢をGET!



全校生425名が心待ちにしていた5月17日（土）の運動会。灰色の雲を次々に押し流す風と肌寒さが心配な朝でしたが、それらを吹き飛ばすかのような力強いファンファーレの音色が校庭一杯に鳴り響いて、今年の運動会の幕が開けました。

◎ 今年の運動会における指導の目標は・・・

今年の運動会において、私たちは次の三つの目標の実現を目指してきました。一つ目は、体力を高め、集団行動の基本的な技能を育てること。二つ目は、運動会の練習や係の仕事を進める中で、子どもたちの自主的、実践的な活動を促して、協力する心や連帯感、責任感などの社会的な態度を養うこと。三つ目は、子どもたちの活動の姿を通して、保護者や地域の皆様の学校教育に対する理解をより一層深めること。

各学年とも、この三つの目標を常に意識しながら、種目の選定や練習における子どもたちへの指導を進めてきました。運動会当日、全力を出し切って頑張る子どもたちの活動の姿から、これまでの取組の成果を感じ取っていただけたでしょうか。

◎ 今年の運動会スローガンに託された子どもたちの思いとは・・・

上学年の子どもたちから募ったスローガンをもとにして、運動会実行委員会の子どもたちが、「燃やせ薫魂 みなぎる力で仲間と共に 夢をGET!」という今年の運動会スローガンを決めてくれました。「運動会に向けての練習や本番の競技を通して、全力で自分の力を出し切り、仲間と協力し合いながら最後まで頑張って取り組んでいきたい」という子どもたちの決意が伝わってくる、素敵なスローガンとなりました。

◎ 6年生の頼もしいリーダーシップが全校生の心をつにしました・・・

オープニングセレモニー・開会式や閉会式での6年生の活躍は、「さすが!」のひと言に尽きます。「小学校生活最後の運動会を自分たちが盛り上げよう」という、最高学年としての自覚あふれる姿を目の前にして、下級生たちも心一つにして見事に応えてくれました。あいさつや誓いの言葉、歌声から、そして、式に臨む凛とした子どもたちの姿から、薫っ子の素晴らしさが存分に伝わってきました。



《運動会実行委員長を始めとして、紅白キャプテン、応援団長、ダンスリーダーなど、6年生は自分の役割をしっかりと果たしてくれました》

◎ ゴールを目指して全力で走り、体全体で表現し、最後まで熱く応援した子どもたち・・・

ゴールに向かって全力で走る子どもたちの姿は、見る者の心を強く揺さぶります。1位でゴールテープを切った子どもの喜びに満ちた表情と同じくらい、あきらめずに最後まで頑張っている子どもの表情も素敵でした。「燃やせ薫魂」の言葉通りの子どもたちの姿をたくさん見て取ることができました。応援団を中心にした全校生の大きな応援の声で、一人一人の子どもたちの頑張りをしっかりと支えてくれました。



《夜中に降った雨が校庭をほどよく湿らせて、グランドコンディションは最高！個人走でも団体競技でも全力を出し尽くす姿が感動的でした》

◎ 学年を超えてのチームワークも、また、見事でした・・・

「異学年交流」の種目では、上級生が下級生を思いやる姿、上級生を慕う下級生の姿が随所に見られ、なかなか見応えがありました。昼休みの時間を中心にして、縦割り班で練習に取り組んだ全校ダンス「よっちょれ」では、隊形移動もスムーズに決まり、子どもたちは大満足の表情でした。



《熱い応援の中にも、チームの仲間を思いやる心、相手チームの友達を気遣う優しさが、伝わってきました。紅白ともに「夢をGET！」》

.....

☆ 保護者・地域の皆様の温かな応援に感謝します！！

本校の目指す子ども像である「心豊かな子ども」、「考える子ども」「健やかな子ども」の姿が校庭一杯に大きく広がる、そんな運動会を全校生が心一つにして創り上げることができました。最後の最後まで温かい応援を送っていただき、ありがとうございました。